

1 学校教育目標

学ぶよろこび ・ きたえるよろこび ・ ふれ合うよろこび をもつ子ども

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自立を促し、手助けをする学校 ・子どもが安心して過ごすことのできる安全な学校 ・すべての子どもに基礎的・基本的な学習事項を定着させる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力・体力を身に付け、工夫しながら楽しむ子ども ・目標をもち、最後までやり遂げる子ども ・互いの違いや人権を尊重し、協働して、社会に貢献する子ども
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に過ごし、子ども理解に努める教師 ・子ども一人一人の自己実現を支援する教師 ・保護者・地域に信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

- ・足立スタンダードに基づいた授業を展開し、ICT を利活用した協働的な学びの展開に努め、キュビナを活用した個別最適な学びを図る。
- ・学校行事や校外学習などに向けた事前・事後指導を展開し、児童の自己肯定感を高める指導の充実を図る。
- ・ゆとりある生活時程の中で、学習時間の確保と授業の質の向上に務め、主体的に行動する児童の育成を図る。

[前年度の成果と課題]

- 低学年から算数少人数指導を取り組み、分かる授業を実践し確かな学力を身に付けることができた。
- チャイムに頼らず、時計を見て主体的に行動するようになった。
- カリキュラムマネジメントを進め、児童がゆとりのある学びと学校の働き方の両立。
- 家庭学習を主体的に取り組めるよう、児童が課題を見付け学習計画を立てて探究する時間の設定。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度）			R:令和	
		R4	R5	R6	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	○	○
2	豊かな人間性の育成（豊かな心）	◎	◎	◎	○	○
3	基礎体力の向上と健康な体づくり（健やかな体）	○	○	○	○	○
4						

5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的な内容の定着、課題解決を分かりやすく考えさせる授業の工夫・改善を行う。		年度末定着度調査（2月）の2科目平均通過率75%、平均正答率75%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 改善	授業研究	全学年 国語算数 総合特活 道徳	通年	全教員 ・足立スタンダードの徹底 ・特別の教科道徳や学級活動、調べる学習指導の共有	実施回数	・年4回 ・年度末に達成状況を評価	自己評価の際に記入		
2 継続	話す力の育成	全学年 全教科	通年	・他者との関わりから考えを深める授業づくり ・他者に伝える機会の充実	児童や教員へのアンケート	肯定的な回答が80%以上			
3 継続	書く力の育成	各教科 その他	通年	全教員 ・各教科や特別活動等において学年に応じた文字数で書く活動の日常化	児童や教員へのアンケート	肯定的な回答が80%以上			
4 新規	個別最適な学び	国語算数	通年	・キュビナシートを活用し課題解消のための個別支援	児童や教員へのアンケート	肯定的な回答が70%以上			
5 継続	教員の授業力向上	各教科 その他	通年	全教員 ・教科指導専門員と一緒に校長の授業観察 ・小中連携の目指す児童・生徒像を目指した授業づくり	・授業観察の実施回数 ・教員へのアンケート	・年間一人3回以上 ・年度末に達成状況を評価			

重点的な取組事項－２		豊かな人間性の育成（豊かな心）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体験の中から、人やこと、ものとの関わり方を学び、豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目以上が達成基準以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・差別に関する教員研修と防止授業を4回以上 ・児童会主体のいじめ・差別撲滅キャンペーンを年2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座で、いじめ防止授業を全学級で公開 ・健全育成の年間計画に沿った取組の実施 	自己評価の際に記入		
学級活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動(1)の話し合い活動を年間15回以上実施 ・全員が学級会の運営に1回以上関わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動(1)の実施 ・土曜授業で学級活動の話し合い活動を全学級で公開 ・全員が司会や記録等を経験する 			
自己肯定感を高める支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学期や学校行事等のめあてや振り返り指導を年4回以上 ・学校評価（児童）「自分のことを大切に思う」の肯定的回答が90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢デザインシートの活用 ・学級活動の時間に、係活動のめあてづくりや振り返り指導を実施する 			
不登校やその傾向がある児童への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の実施回数 ・（3年生以上）QU検査を2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会で、情報共有、関係諸機関との連携など、素早く組織的に対応する ・QU検査の結果を学級経営に活かす 			

重点的な取組事項－3		基礎体力の向上と健康な体づくり（健やかな体）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
進んで体を動かす児童の育成と基礎体力の向上		目標実現に向けた取組の実施結果が、2項目以上が達成基準以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	自己評価の際に記入		
基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 課題種目の平均値が、年度初めよりも再調査の結果が向上 体育実技研修を、年3回以上行う 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の調査から課題種目を決め、体育の時間に課題克服のための指導を行う 効果検証として、再調査を12月までに実施 体育実技研修を実施し、指導のポイントを全教員が共有する 			
オリ・パラ教育「学校2020レガシー」	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価項目（児童）「体を動かすことは楽しい」の肯定的回答が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 中休みに全児童が取り組むオリンピックタイム体操、リズムダンス、なわとび、持久走など 			
食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価項目（児童）「ひと口目は野菜から食べる」の肯定的回答が85%以上 学校評価項目（保護者）「ひと口目は野菜から意識して食べる」の肯定的回答が60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全学級で「ひと口目は野菜から、よくかんで食べましょう」の号令を実施 栄養士と担任が連携した学級指導の実施 学校だより、給食だよりでベジファーストの必要性を発信する 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）